

2. Long-Term

IR (統合型リゾート) 事業

カジノとセガサミー Vol.2



PARADISE SEGASAMMYが開発を進める施設の完成予想図

カジノオペレーションの大きな可能性

日本では、成長戦略の柱として注目されるIR^{*1}の実現に向けて、IR推進法案 (通称：カジノ法案) の議論が進められています。

IRが生み出す大きな経済効果を、シンガポールを例にご紹介します。2010年に開業した2つのIRによって、シンガポールへの外国人観光客数は、2009年から2013年で6割増えて1,550万人となり、観光収入は8割を超える成長を記録しています。これに伴い、1人当たり名目GDPは年率9.48%^{*2}の伸びを続け、2013年には日本の1.4倍にまで成長しています。また、建設投資等を含む施設開業までの経済効果に加え、開業後は間接雇用を含めて約6万人の新規雇用の創出や、税収効果など、同国経済に様々な影響を与えています。一方、日本ではIRの法制化、候補地や民間事業者の選定などの一連のプロセスがスムーズに進行すれば、2020年頃に実際の運営がスタートするという見方がありますが、民間事業者としての認可を取得するためには、先行的に準備が必要となります。当グループは、その準備を進めている1社です。

IR施設の開発時には不動産開発、運営がスタートした後は、カジノ機器の販売、カジノオペレーションに加え、ホテル・商業施設の運営などの幅広い商機が期待されています。カジノ機器事業に関しては、2013年6月にセガサミークリエイション(株)を設立し、セガサミーグループが保有する最先端技術に、感性と豊富な経験を活用し、カジノ機器の開発に取り組んでいます。一方、カジノオペレーションに関しては、専門度の高いノウハウを有する企業が国内では皆無です。当グループは、認可取得の重要な要件として、また大きなビジネスチャンスと位置づけ、ノウハウ蓄積に特に力を注いでいます。

出所：シンガポールの外国人観光客数及び観光収入は、シンガポール政府観光局
名目GDPは、International Monetary Fund, World Economic Outlook 2014

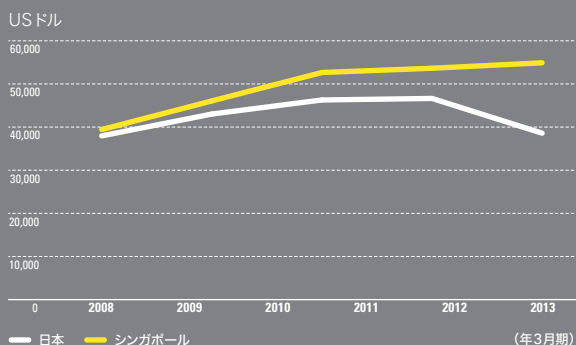
^{*1} IR：統合型リゾート (Integrated Resort)

^{*2} CAGR (Compound Average Growth Rate：年平均成長率)

IRがシンガポールにもたらした経済効果



1人当たり名目GDP





仁川

現場に人財を派遣し、ノウハウの習得を図る

仁川国際空港隣接地にある「Paradise Casino Incheon」が、カジノオペレーションや管理ノウハウの蓄積を進めている現場です。韓国Paradise Groupとの合併会社 PARADISE SEGASAMMY Co., Ltd. (当社出資比率45%) が取得したこのカジノ施設に、2014年5月よりキーパーソンの人財を派遣しています。

PARADISE SEGASAMMY Co., Ltd. はさらに、国際業務区域(IBC-1)において大型複合リゾート施設の開発を進めています。中国・日本を中心とした東アジアの観光客を主要顧客として想定し、33万m²超の敷地に1万m²を超える韓国最大級のカジノフロア、700室規模のホテルのほか、MICE*施設、飲食・商業施設などを備える予定です。2017年の開業時までには、ノウハウ蓄積の面でのリードを一層広げていくための施策を展開していきます。

* MICE : Meeting (会議・研修・セミナー)、Incentive tour (報奨・招待旅行)、Convention または Conference (大会・学会・国際会議)、Exhibition (展示会) の頭文字をとった造語で、ビジネスホテルの一形態

IRの現場

① Paradise Casino Incheonでノウハウを蓄積する人財

「世界に類を見ない施設を日本で創り上げたい」

PARADISE SEGASAMMY Co., Ltd 営業チーム 次長 青山 茂樹

私は、2014年5月より韓国のPARADISE SEGASAMMY Co., Ltd. に駐在しています。私には、三つのステップでノウハウを蓄積・発揮していく使命が課せられていると認識しています。第1のステップは、現在取り組んでいるParadise Casino Incheonでの運営・経営ノウハウを習得すること。第2のステップでは、2017年に隣接地で開業予定のIRにおいて開業に必要なノウハウを身に着けることです。そこで学んだノウハウを活かし、日本で実際にIRを企画・開発し、開業に漕ぎ着けることが第3のステップです。

赴任して最初に行ったのは、カジノのゲームルールやディーラー業務の習得研修です。私自身がディーラーとなり、ゲーム進行やカード・チップの取り扱い訓練のほか、運営規定に定められた様々な業務を徹底的に訓練しました。現在は、カジノフロアで実際にフロアパーソンとして業務に携わっています。顧客・ディーラー管理をはじめ、業務は多岐に亘るため、カジノの「現場を知る」という意味で最適だと感じています。現地の従業員の方々とは一緒に食事することが多く、私達を家族と呼んでくださるなど良好な関係が築けていると思います。現場を経験した後は、各メンバーが専門領域ごとに営業企画やマーケティング、経理、システムなどの業務に就く予定です。

日本にはないビジネスであるため、日々驚きの連続です。また現地の従業員とは韓国語でコミュニケーションを行う一方で、中国だけでなく英語圏のお客さまも訪問されるため、言葉の面では日々苦闘しています。今後、法案が通過して日本国内にIR施設ができれば、同様の課題に直面すると考えられるため、乗り越えていきたいと思っています。まだ“カジノ運営のいろは”を学んでいる段階ではありますが、日本でIRが実現するまでに知見を蓄え、日本ならではの施設を創り上げることにぜひ貢献したいと考えています。



Paradise Casino Incheonで運営ノウハウを学ぶ青山(左から3人目)